

LogVillage インベントリ収集エージェント

v1.1.0.12 リリースノート

この資料は、LogVillage インベントリ収集エージェント v1.1.0.12 のリリースノートです。
変更内容は下記の通りです。

記

■新機能

1) 資産管理番号を引数として渡す機能を追加

- ・エージェント実行時に資産管理番号を引数として渡す機能を追加しました。

引数の実行方法: LV_InventoryAGT.exe silent "[資産管理番号]"

(例) LV_InventoryAGT.exe silent "18-A000-000"

■仕様変更

1) PC の一意判定処理

- ・PC の一意判定を UUID のみで行っていましたが、同一 UUID が存在することから、「UUID+資産管理番号」の値で PC の一意判定を行う仕様に変更しました。

この修正は、一意判定用のカラムに UUID を格納していましたが、当該カラムに「UUID+資産管理番号」を格納する仕様に変更しました。

この修正に伴う LogVillage マネージャの修正はありません。

- ・「UUID+資産管理番号」を一意キーとする場合、「Config.ini」ファイルに以下のセクション、キーを追加してください。

[Option]

InputCode=1

■不具合修正

1) Oracle インベントリ取得

- ・Oracle のインストール有無を判定するサービス名で、一部判定できない場合がある問題を修正しました。

以上

2018 年 9 月 5 日
株式会社 蒼天

<お問い合わせ先>

本製品に関するご意見、ご質問はメール、TEL、FAX にて下記までお問い合わせ下さい。
お問い合わせの内容によっては、返答に多少お時間をいただく場合がございます。予めご了承下さい。

〒135-0032 東京都江東区福住 1-14-4 山崎ビル 1F

株式会社 蒼天サポートセンター

e-mail : support@so-ten.co.jp

TEL : 03-5809-8406

FAX : 03-5809-8495

受付・対応時間 : 月～金曜日(祝祭日、年末年始休暇を除く) 10:00～17:00



<過去のリリースノート>

◇v1.1.0.10(2018/7/9)

■新機能

1) MS SQL Server のエディション名取得

- ・SQL Server のエディション名取得機能を追加実装しました。

■仕様変更

1) 資産管理番号の入力

- ・エージェント開始時に資産管理番号の入力ウインドウ表示を追加しました。
入力した資産管理番号は、ハードウェア台帳 OS 情報 説明項目に表示されます。

◇v1.1.0.7(2018/4/13)

■仕様変更

1) NIC 情報取得

- ・Windows の有効な NIC 情報取得時に有線・無線の区別を行う仕様に変更しました。

◇v1.1.0.6(2018/2/16)

■仕様変更

1) WNI 情報の取得に失敗した場合の動作

- ・全ての dat ファイルを生成せずプログラムを中断していましたが、ソフトウェア情報のみ dat ファイルを生成する仕様に変更しました。
※dat ファイルは「data」フォルダに作成されます。
- ・WMI への詳細なアクセスログを出力する仕様に変更しました。
※LV_WMI_LOG.TXT ファイルに出力されます。

2) ログファイルの出力が行えない場合の動作

- ・書き込み権限が無い等でログファイルが出力できない場合、エラーメッセージを表示する仕様に変更しました。

◇v1.1.0.4(2018/1/31)

■新機能

1) WSUS 設定情報取得を追加

- ・WSUS 設定に関する以下の情報取得を追加しました。

- WSUS サーバ情報
- WSUS 統計サーバ情報
- 自動更新の構成
- インストールを実行する曜日 *1
- インストールを実行する時間 *1

*1 自動更新の構成が「4.自動ダウンロード・インストール日時を指定」設定の場合のみ取得

2) Secure Doc の情報取得を追加

- ・Secure Doc での HDD 暗号化の有効/無効情報取得を追加しました。

◇v1.1.0.3(2017/12/22)

■新機能

1) Oracle インベントリー取得(WindowsOS)

- ・OracleDatabase、OracleClient のインベントリー情報取得を追加しました。